

大関のこども



坂井市立大関小学校

学校だより第32号

令和3年12月13日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>



「家読」へのご協力、ありがとうございました！



読書が、家庭でのコミュニケーションと家族の絆につながりました！



11月は大関小学校の読書月間ということで、「家読（うちどく）」の取組を行いました。保護者やご家族の皆様には、お忙しい中、ご家庭でお子様と取り組んでいただき心より感謝申し上げます。

「家読」とは、「家族ふれあい読書」という意味で、読書を通じてコミュニケーションを図り、家族の絆をつくる取組のことです。「家読」の方法に決まりはなく、ご家庭にあったやり方で家族や身近な人と本に親しむことが大切とされています。今回、ご家庭で取り組んでくださった結果は、以下の通りでした。中には、いくつもの方法で取り組んでくださった保護者もおられました。

家庭内でのコミュニケーションが増え、家族の絆が深まり、今まで気づかなかった子どもの新たな面が発見できるなど、様々な効果があると言われる「家読」。今後もぜひ、お時間のあるときにお子様と一緒に取り組んでいただければと思います。

【今回取り組んだ家読の方法】

全校の延べ人数

① 同じ本を読んで話をする	49名
② 読み聞かせ（お家の人からお子さんへ）	27名
③ 読み聞かせ（お子さんからお家の人へ）	30名
④ 本の紹介（お家の人からお子さんへ）	19名
⑤ 本の紹介（お子さんからお家の人へ）	46名
⑥ その他	6名

保護者の皆様、たくさんの感想をありがとうございました！一部ご紹介します。

- ・ゲームやタブレットが普及しており活字離れしている中で、子どもと一緒に本を読み、子どもの気持ちや感じたことをゆっくり聞くことができよかったです。絵本ではなく、詩をお互いに読むことで、感じ方や子どもながらのとらえ方の違いがわかりよかったです。【母】
- ・いつの間にか本の読み聞かせができるようになっていたことに成長を感じました。自分だったらどの5分がいいかを考えられていて、本の内容を自分の事として考えられるようになったんだと感心しました。今度は読み聞かせをしてあげて、感想を聞いてみたいです。（本：ながーい5ふんみじかい5ふん）【父】
- ・子どもと同じ本を読んで、お互いに思ったことを話し合い、良いコミュニケーションがとれました。本を読むのもいつの間にか上手になっていたり、しっかりとした意見をもてるようになっていたり、子どもの成長を感じることができて良かったです。【母】
- ・初めて読み聞かせをしてもらいましたが、とても上手に読んでいたので感動しました。会話部分は登場人物ごとに声のトーンなどを変えていて工夫も感じられました。楽しい時間を過ごせて良かったです。【母】
- ・しっかり耳を澄まし、感じとり、想いを書けていたので成長したと思います。【祖父】
- ・読んだ本のことを詳しく紹介してくれて、本の内容がしっかり伝わりました。なかなかこのような機会もないので貴重な経験になり、子どもとコミュニケーションがとれて楽しかったです。【母】
- ・説明するのが難しかったようですが、小説を読めるようになったのがびっくりしました。これからも本をたくさん読んで、いろんなことを知って考える力を育てていけるといいですね。【母】
- ・これからも日々、本を読み、知識をたくさん得てほしいと思いました。【父】
- ・親子で笑い合いながら、楽しく本を読むことができました。次は物語等の本と一緒に読みたいと思いました。【父】
- ・自分の考え、意見をもっていることに改めて成長を感じることができました。今後も、色々な本を通して考えて感じてほしいと思います。【母】